

いなみ町

議会だより

No.51
2011.10

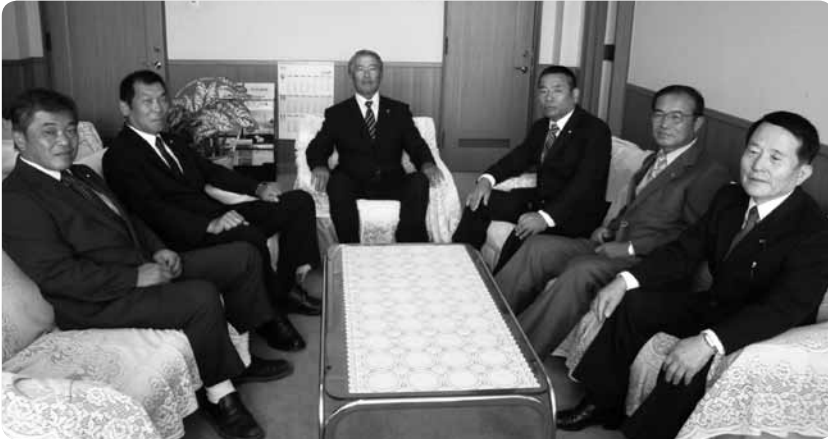
いなみこども園運動会

9月定例議会

新各委員会メンバー・町内災害(台風12号).....	P2~P3
23年度補正予算(議案審議)と事業のクローズアップ...	P4~P5
22年度決算認定他.....	P6
一般質問「ここが聞きたい」5人が登壇.....	P7~P11
常任委員会活動報告.....	P12~P13
印南町シルバー人材センター紹介・あとがき.....	P14

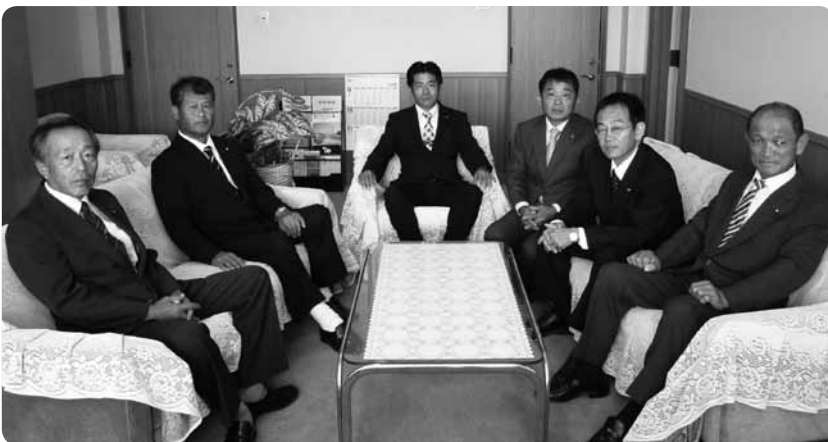
各委員会の構成

よろしくお願いたします。



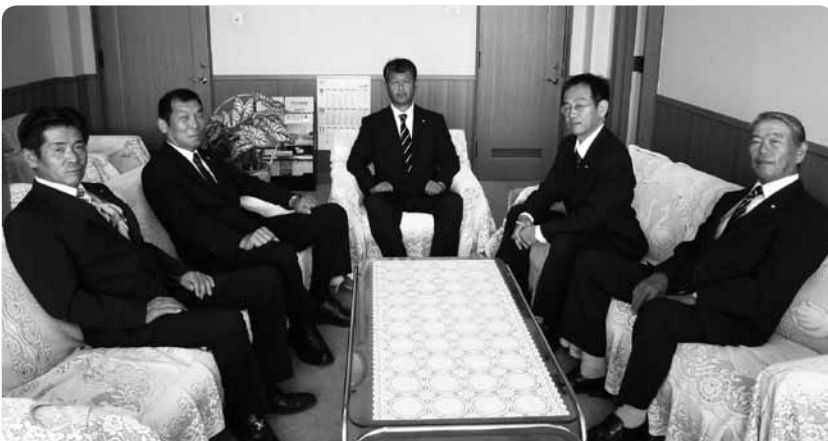
文教厚生常任委員会 【6名】

役職	議員名
委員長	村上 誠 八夫
副委員長	井上 孝 夫
委員	杉谷 孝 夫 祥三
	岡本 庄 三 徹
	西藤 山 本 良 昭



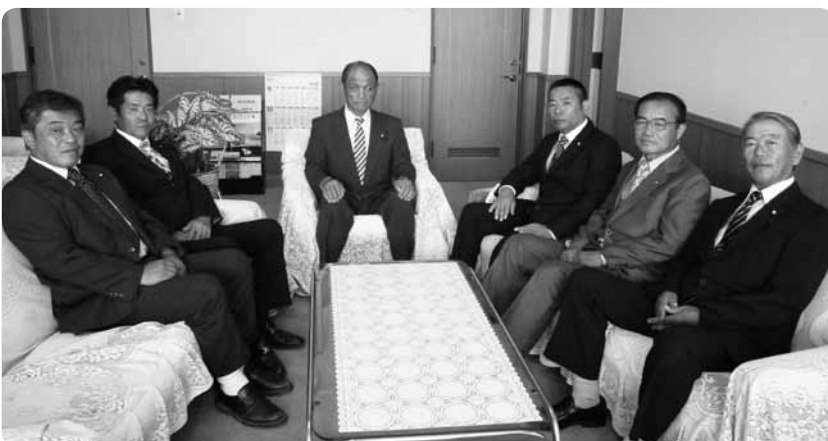
総務産建常任委員会 【6名】

役職	議員名
委員長	藤 薮 利 広
副委員長	玉 置 克 彦
委員	日 裏 勝 己 平
	榎 本 野 一 幸
	廣 堀 口 晴 生



議会運営委員会 【5名】

役職	議員名
委員長	廣 野 英 幸
副委員長	岡 本 庄 三
委員	村 上 誠 八 平
	榎 本 薮 利 広



議会広報特別委員会 【6名】

役職	議員名
委員長	日 裏 勝 己 祥
副委員長	杉 谷 考 夫 祥
委員	村 上 誠 八 夫
	井 薮 利 広
	藤 山 本 徹

町内の災害（台風12号）復旧を早急に!!



町道櫻川田辺線の大規模崩土

去る9月2日から4日にかけて四国から中部地方を横断した台風12号は、印南町にも大きな被害をもたらしました。記録的な集中豪雨は切目川流域で、約700mmに達しました。

9月15日、印南町議会全議員で切目川流域の被害状況を、建設課・産業課の案内により、視察しました。

河川については、各地で堤防の決壊、護岸の欠損など大きな傷跡が見受けられました。

道路の被害については、櫻川地内で2か所、川又地内で1か所、大規模崩土により通行ができない状態にありました。現時点では通行可能となっています。櫻川地内2か所は、2

次災害の可能性が大であります。

田畑、農作物の被害については、鉄骨ハウスやパイプハウスにガレキがかかり、多くの倒壊がありました。

また、大量の濁流や土砂の流入・流出等により、収穫直前の水稻や千両畑にも、大きな被害が発生しています。

これらについて、復旧を早急に行うよう、議会は町執行部に対し、要請しました。



切目川流域



川又地内



古屋地内

8月臨時会

臨時会は8月22日に開かれ、1件の専決補正予算の承認と条例の制定2件、工事請負契約1件、補正予算1,000万円を審議し原案どおり可決しました。

また、各常任委員会等の委員選任・各事務組合議会議員の選挙も行い決定しました。

御坊広域行政事務組合	井上 孝夫	日高広域消防事務組合	榎本 一平
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	岡本 庄三	御坊日高老人福祉施設事務組合	村上 誠八

9月定例議会

議会は9月8日から20日まで開かれました。

今議会では、6件の条例、1件の権利放棄、平成23年度の補正予算等の議案を原案どおり可決し、平成22年度一般会計・特別会計の承認を行いました。

また、議会政策研究特別委員会の互選結果を報告しました。

議会政策研究特別委員会	委員長 堀口 晴生・副委員長 藤薮 利広
-------------	----------------------

平成23年度一般会計補正予算
(第3号)(16億5830万円)

今回の事業内容と
それに対する質問

活力創出基金6億3600万円に、財政調整基金2億7000万円を加えて、「印南町安全安心基金」9億600万円です。

非常用飲料水袋全世界帯配布とは、どのようなことですか。

3200個を、自主防災組織、区を通して全世界帯配布いたします。

また、飲料水の確保は、町内の10t以上の配水タンク約30カ所と、古井の切目川水源池の取水能力が1日4

700tであり、緊急用の発電機も用意しております。

いなみこども園の保育料は、当初1735万円です。

今回545万円の歳入追加補正はどうしてですか。

当初は、保育料の平均は6378円(3保育園の平均値)で想定していましたが、印南地域を加えたため8400円程度となりました。

コンビニ収納とはど

のようなことですか。

納付者の利便性の向上を図るために、軽自動車税をコンビニから納付できるようにいたします。

今後は、他の納税についても取り組んでいきます。



事業のクローズアップ



8月臨時会

「いなみっこ交流センター（旧印南幼稚園跡）」に、児童の安全や健全育成を目的として、「印南町学童クラブ」を設置します。小学校1学年から6学年の児童を対象に、学童保育が始まります。



9月定例会

主な議案を可決しました。

- ① 職員の育児休業等に関する条例の制定について
- ② 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ③ 印南町報酬及び費用弁償条例の一部改正について
- ④ 印南町長期継続契約に関する条例の一部改正（町税等をコンビニからも納付できる）
- ⑤ 印南町安全安心基金条例の制定（印南町活力創出基金を、改める。）



地域の活性化と安全で安心な、まちづくりの実現を図ることを目的とする重要施策の実施に充てるため設置する。

平成23年10月1日より施行

- ⑥ 印南町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正（東日本大震災の被害者に係る災害援護資金の貸付の特例等）

- ⑦ 体育センター耐震化等改修の追加工事

変更後契約金額

7,479万円

契約相手 (株)駒場工務店



工事期間 6月17日～10月17日

意見書を採択し国や関係機関に提出しました!!

漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書

昨今の漁業をとりまく情勢は、コストに占める燃油費のウェイトが極めて大きい漁業にとって、燃油価格の高騰によるコストの上昇に加えて、構造的な魚価の低迷のなかで収入面においても厳しい状況にあり、漁業経営は深刻な状態に陥っている。

さらに、燃料として主に軽油を使用している沿岸漁業地域においては、零細漁業者も多く、軽油引取税の免税措置が廃止されると漁業経営は一段と圧迫され、漁業者は廃業にさえ追い込まれかねない。

このような中、漁業者が国産水産物を安定供給し続けるためには、漁業者の経営安定が必要である。食料産業の存続のためには、軽油引取税の免税措置は不可欠な措置であるため、国に対して下記の事項について実施されるよう重ねて強く求める。

記

1. 漁船に使用する軽油にかかる軽油引取税の免税措置について、恒久化すること。

平成22年度 総額82億円についての決算認定 (一般会計55.2億円 特別会計26.8億円)

昨年度の一般会計予算がどの様に使われ成果を上げているか、町民の代表である議会が審議し認定します。

一般会計決算に 対する質疑

Q

農林水産県補助金の中で、経営体育成交付金は、農業振興費で支出されていますか。

どのような内容ですか。

A

農業に意欲のある(一定要件をみたす)方々に対して、30%から50%の補助金を交付いたします。

主なものは、ハウレンソウの施設園芸、パイプハウスの新設、トラクター、加温機の購入等です。



Q

固定資産評価更新業務委託料として、平成22年度は1285万円支払われていますか。

A

3年ごとに固定資産の評価替えを行っています。そのため費用で、3年間の委託契約が2415万円となっております。

平成22年度については、航空写真撮影、地上画データの更新等です。

Q

鳥獣害対策でサルの追い払い隊として、47日出動されていますか。

A

町内には約200頭の生息が確認され、追

い払いとして一応の成果はあげています。

さらに、きめ細やかな対応ができるように、協議しています。

Q

公民館が耐震補強及び改修工事により、リニューアルされました。

利便性について問題はありますか。

また、

先般の台風時に玄関付近で雨漏りがあったこと

です。問題はありますか。

A

耐震補強されたことにより、安



リニューアルされたカウンター

全性の確保ができました。

また、改修工事により、バリアフリー化、多目的トイレの新設、事務室のカウンター化等により、環境面でもかなり向上できました。

雨漏れにつきましまして、現在調査中であり、随時対応してまいります。

質問 自然災害による

農業被害に対する復旧、復興に対する農業施設等に補助は出来ないか。

答弁 産業課長

今回の台風12号により耕作地や農業ハウス、千両施設が場所によっては壊滅的な被害を受けております。農業被害額は(9月6日現在)約1

億円。

現在町で取り組んでいる、野菜・果樹産地強化事業を活用したパイプハウス建てかえ事業の活用や、町が独自に昨年より実施しています千両施設栽培緊急対策事業の補助制度を推進し、意欲のある農家の復興を支援していきたい。

介護保険について

質問 介護費用

の伸びの分析はされているのか、介護保険法では介護保険は来年報酬改定の年で、介護保険料が見直される年だと聞いております。国においても平均で10000円上昇する見込み

と聞かすが、どれくらいの上上がりを見込んでいるのか。

また、今後の介護会計は上がっていくと思われませんが、どのような対策を考えているのか、具体的な見通しは出来ないか。

答弁 住民福祉課長

現在認定者数は538名、介護制度が始まった平成12年度と比べて298名の増加。サービスの傾向は、平成22年度で約7億9000万円の寄付。

平成12年度の当初に比べますと、約2.5倍の伸び。国から示された保険料算定のワークシートに準じ算定し、保険料基準額について現時点ではわかっていません。介護予防事業の見直

しなど費用対効果を見きわめながら、支出の圧縮に取り組んでいきたい。

国保について

質問 ここ10年間の国保税収の推移は。

答弁 税務課長

収納状況は、平成13年度の4億4898万円をピークに年々減少の一途をたどり平成22年度では、3億102万1329円です。

質問 所得が低くなれば値上げや基金の繰り入れをするのか。

答弁 住民福祉課長

所得の減少による収入の伸び悩み等国費の補助金の動向を見きわめながらの会計運営をしているのが現状、今後のところ実質単年度収支は赤字です。

当面は基金の繰り入れによる運用を図り、医療ニーズに応じて上昇する医療費に対して、税率の値上げを視野に入れ財源の適正化を引き続き検討します。

携帯電話電波状況について

質問 黒潮フルーツラインは携帯電話の電波状況が悪いので、緊急時に困る。

答弁 総務課長

県から事業者へ現在要望が出されております。今後、町の対策といたしましては、質問のあった電波不感地点の解消について、南部町と連携を図りながら、県・事業者へ積極的に働きかけていきます。

「9・4台風12号の対応は？」

岡本 庄三議員

学校給食の民間委託は行うべきでない

— 完全自校方式はすばらしい制度 —

榎本 一平 議員



す。

すでに具体的な内容や日程について決定しているのか。

答弁 教育課長

平成31年度を目標にする行財政改革大綱の中に「調理業務の民間委託と臨時職員制度の廃止を含め検討する」としている。

学校給食の民間委託を目指し検討しており、平成24年度中に結論を出したい。

質問 いずれも民間委託をしている、御坊と

由良の給食センターで話を聞いてきた。

米は地元米を使用しているが、民間委託では食材の地産地消の対応は困難であることがわ

かった。現在の完全自校方式でも地産地消の対応ができるのではないか。

答弁 教育課長

御坊や由良のセンターほど町内の食数は多くない。

小・中学校合わせても、800食です。地産地消また食育の栄養指導でも、十二分に民間委託をしても実施できると確信しています。

台風12号で発生した被害に対し町の支援を
— 農業関係者の深刻な声をうけて —

質問 台風12号により

特に切目川筋を中心に民家への浸水、農作物や農業施設に大きな被害が発生しました。

町として農業関係者への支援策を求める。

答弁 秘書政策室長

災害救助法などの法

律が適用されないか、位置づけを明確にして支援対策を図っていきま

質問 農家の皆さんか

らは、被害を受けて収入の減少を心配する声や、税金への対応を求め不安や要望の声が多数出ているもとで、町長は農業関係者の声をきちんと把握しているのか。

答弁 町長

被害の大きかった所を中心にお伺いをしました。

災害救助法など助ける手段は見つかっていない。

災害救助法などの適用がされれば税金の減免なども国が支弁してくれ対応できるが、町全体のバランスを考えた時、町の支援といった活動は見送る、という判断をしています。

質問

去年11月に発行された広報「いなみ」に「職員数の適正化に向けて」と題して町長のメッセージが掲載されている。

主な内容は行政改革

の一環とし職員を削減するが、「それでも行政運営は大丈夫だ」と述べ、その理由として給食の民間委託をあげていま

質問

町道は住民にとって大切な、生活道路ですが、1級道路の認定をされている道路であっても、水路の土砂の堆積や路肩や法面の草や立木の覆いかぶさりが目



立ち安全性が損なわれています、事故などが起こらないように今後の方策は考えていますか。また町道の管理のためのパトロール等はしていないのでしょうか。

答弁

建設課長

維持管理の中で草刈りや舗装工事等の対応をしています、町道管理のためのパトロールはしていません、日常業務の中で確認したり、地元の方長さんからの要望等にに応じて対応しています。

質問

最近では大雨による側溝の詰まりや道路の冠水等が多く発生しています。現状では地域ごとに、維持管理をしています。重機等が必要になるほどたくさん土砂がたまった所もあります。

また、清掃しても土砂の捨てる場所がありません、町で捨てる場所の確保はできないのでしょうか。

答弁

設課長

すべての道路の維持管理を町で実施するのは困難です。

しかし管理上もう一度、大丈夫なのかということも再検討して必要があれば、しっかりした措置を講じていきたいと思いますが、完璧に行政が出来ない事情も理解していただきたいと思えます。

引き続き各自治区や地域でお願いしてまいりたいと考えています。また、土砂については法の枠の中で検討課題といたします。金額がかさばってくる部分に関しては、何らかの形で救済措置ができるよう一定のルールの中で対策を検討中です。

質問

個人所有の道路にかぶさってきた、支障木を自治体や公共団体が除去できる方策は考えられますか。

答弁

建設課長

事前に所有者を特定し所有者責任において、伐採等おねがいしています。

質問

印南地区での浸水について、17棟が床下浸水したと聞きますが、今後の対策方策はどう考えていますか。

答弁

建設課長

印南川の河川改修については10年に一度の大雨でも対応するという河川改修計画に基づき改修し、完了しています。

この内水の対策につきましては、県も交えて1・2年しっかり議論もしてきましたが、残念ながら有効な対策がないのかなと思います。今後対策を考えていきます。

町道の維持管理についてを問う

藤藪 利広 議員

切目川大災害について

西山 徹議員



質問 今回の台風12号

での大雨で、数箇所での堤防が決壊しましたが、いつ起こるとも分からないゲリラ豪雨から人命や、財産を守るためにも、早期に対処しなくてはなりません。

決壊した堤防の早期修復について町としてのお考えをお聞きます。

答弁 建設課長

今回の台風12号による切目川の堤防や護岸等の被害は大きく、9月8日現在、49カ所の被害箇所があり、次の大雨に備えなければと考えています。切目川については県管理の2級河川であり、県当局に早急な対応を働きかけているところです。

堤防の決壊等について、大型土のうを設置

するなど徐々に目に見える形で現れています。危険箇所等の情報提供を行い、早急な対応を求めて行きたい。

質問 大雨時に切目大

浜の打越堤防が切れることにより、上流の冠水による被害が相当食い止められると考えられます。

河川改修が完了するまで、切目大浜の砂を高く積むのではなく、一定の雨量が降ると自然に切れるような高さにできないか、お聞きます。

答弁 建設課長

切目大浜の打越堤防は、長い歴史の中で現在の対応がされているものと認識しています。

漁場の保護や塩害による農業被害など、過去の経緯もあり河川管理者である県に対して、災害状況や住民の意見を伝え見解を求めていき

たい。



切目川河口付近

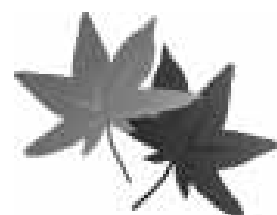
質問 倒壊したパイプハウスの解体・撤去についての考えを、お聞きます。

答弁 産業課長

農産物緊急対策融資の利用推進を図り、ハウスの建て替えをしていただくとともに、千両施設緊急対策事業の利用を推進し、復興を支援していきたい。

自然災害から生命、財産を守る ための防災対策について

廣野 英幸 議員



質問

将来ある子どもたちの学校教育、町民が社会教育の場として利用する公民館等を津波や洪水から守るためにも、高台への移転が必要であると考えます。

計画を立てて建設用地を確保しておく必要があると考えますが、いかがでしょうか。

答弁

総務課長

教育施設等の高台への移転は、現在のところ、各施設の耐震化が整っている状況です。

用地の確保も含め現時点においては計画の具体化は考えておりません。

質問

印南町にはため

池が298ヶ所あります。

地震等で決壊し、下流域への危険が心配されます。耐震診断などを行い、安全対策に取り組んでいただけないか。



尻掛川池

答弁

建設課長

県がため池のハザードマップを平成24年度中に作成する準備を進めております。

集落の中で議論して作成に努めていきたい。

また、危険箇所等も調査しながら必要であれば整備していきたい。

質問

正確な情報が減災対策につながりません。防災行政無線のデジタル化も進み整いつつありますが、所によつては聞き取りにくいところもあります。

よりよい対応を考える必要があると思いますが、いかがでしょうか。

答弁

総務課長

防災行政無線のデジタル化の整備にあわせて、子局及び戸別受信機の増設も計画しており、さらなる難聴地域や難聴世帯の解消を図りたいと考えております。

また、放送の音量・音質等についても、調整対応しているところで

委員会活動報告

「総務文教常任委員会」

●平成23年7月27日防
災対策と自主防災に
ついて、串本町の説
明を受け、その後現
地を視察した。



町立新病院（串本町）

◎東日本大震災前の 取組み

①町立新病院建設は古
座川病院+串本病院
を合併して現在建設
中。

●海抜53メートルの高
台へ建設、ヘリポー
トも併設・建物の建

築費は約25億円

②上野山防災広場を整
備し備蓄倉庫や貯水
槽を設置。備蓄倉庫
の面積は496平方
メートル・事業費は
5600万円。（現
在米1万2000
食、毛布2300枚、
シート1500枚備
蓄）毎年、予算を
とって増やしていく
予定です。



上野山防災広場備蓄倉庫

③上野山防災広場耐震
性貯水槽・容量40m³
通常は配水管路とし

て機能し、災害時に
は貯水槽内の飲料水
を確保し給水でき
る。・設置費4000
万円
避難タワーを町内に
4基設置している。
「最悪逃げ遅れた場
合は、ここに避難し
てください」と呼びか
けている。

◎東日本大震災後の 取組み

④消防防災センター建
設現在敷地造成中。
事業費 6億5千万
円・海抜24m・串本
地区の備蓄機能も備
えている。
●役場が被災した場合
は、ここに移転する
計画

⑤避難道整備

237か所の避難
道を設置している
（年間予算1000
万程度）
被害想定の見直し

が3年先になるた
め、串本町において、
まず何をすればよい
のかを検討した。職
員23名でワーキング
チームを立ち上げ
て、体制づくり・安
全対策・避難関係の
3部会を設置した。
●自主防災組織によ
る避難所の見直し
（避難路整備等）を
行っている。

●自主防災組織の設置
率は94.3%・32地
区

●簡易高度計を購入
し、高さを確認、避
難所の見直しもして
いる。

●救命胴衣等補助金
制度（3000円以
内で補助）・小学校
は全児童ライフジャ
ケットを準備してい
る。・消防団は全員配
布。・防災ヘルメット
も補助対象としてい
る。

「厚生常任委員会」

◎子ども医療について

●乳幼児医療費助成
乳幼児の健康と健や
かな育成をはかるため、
保険診療による医療費
の一部負担金を助成し
ています。

◎子ども医療費助成

●平成23年4月1日より、
18歳まで『子ども医療』

(委員長所見)

串本町は、この地方特有のリアス式海岸で
海岸地域の非常に長い町です。

3.11以前から危機感を持っていたのか、
病院、防災センター（建設予定）等が高台に
計画的に設置されているように感じました。

制度を拡充しています。



◎地域医療について視察

紀ノ川市にある、江戸時代の医学者華岡青洲を顕彰するために設立された『青洲の里』の視察研修を行いました。



語り部による説明案内

(委員長所見)

子ども医療の向上と子育て支援制度の充実の必要性を感じました。
また、『青洲の里』の視察研修では、歴史上の偉人の存在は、地域にとって大きな財産であると感じました。

産業建設常任委員会

●本年度の町道の改修計画について建設課より説明を受けました。

①町道古井丹生線
(平成21年～平成26年)
全体(2億円・740m)

本年度(5100万円・120m)

②町道印南山口支線1号
(平成22年～平成23年)
全体(6000万円・180m)
本年度(4000万円・

96m)



③町道南谷山口2号線
(平成23年)
本年度(3400万円・100m)

④町道光川本郷線
(平成23年)
本年度(3600万円・40m)

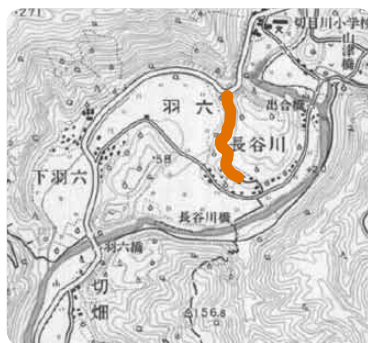


⑤町道崎の原軍道線
(平成23年～27年)

全体(2億2000万円・790m)
本年度(4000万円・測量設計、用地補償)

●来年度以降の町道の
新期改修計画について

①町道西内田西ノ前線
(平成24年～)
延長510m



②町道稲原道成寺線1号
(平成24年～)
延長700m

●町道認定の見直しについて



「印南町道の認定基準に関する要綱」に基づいて見直しを行っています。

○1級町道は、全町的な基幹道路網を構成し、重要な集落を連絡する道路であり、24路線を認定。

○2級町道は、1級町道以外の道路を補完し、かつ、集落的な道路網を構成するに必要な道路であり25路線を認定。

○その他町道は、1級町道、2級町道以外の町道で、一般大衆の交通に供する道路であり、717路線を認定。

印南町シルバー人材センター設立総会



10月5日、「印南町シルバー人材センター」を設立いたしました。

① センターの目的は

高齢者が働くことをとおして、協働・共助のもとに地域社会に貢献することにより、生き生きとした生活を楽しむことを目的としています。

② センターの性格は

自主的な運営団体で、地域社会に密着した臨時的かつ短期的軽易な仕事を、家庭や事業所、公共団体から引き受け、これを会員の希望や能力に応じ提供する仕組みです。

③ センターの公共的・公益的性格は

高齢者の就業の機会を図り、併せて活力ある地域社会づくりに寄与するもので、高度の公共性・公益性を有す

る事業です。従って、高齢法45条を基に地方公共団体の支援・助成をうけています。

④ 自主的団体としての性格は

センターは会員に自主的・自発性を尊重します。従って、組織の運営はもとより、仕事の開拓受注には出来る限り、会員一体となつて実施することが原則となっています。

⑤ センターの課題は

印南町は高齢化が進んでいます。基幹産業である農業人口も高齢化により今後危惧されています。シルバーが仲立ちの役割を果たしていける可能性も有ります。また、自主事業も考えています。町民と共に発展して行きたいと考えています。

あともがき

台風12号により、印南町におきましても壊滅的な被害を受けました。被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、9月から議会広報特別委員会のメンバーが変わりました。一同、力を合わせ編集に取り組んでまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

また、印南町議会の活性化を図るためにも、より多くの方々に議会を傍聴していただき、ご意見賜わりますことを、心よりお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長	日裏 勝己
副委員長	杉谷 孝祥
委員	村上 誠八
	井上 孝夫
	藤薮 利広
	西山 徹